

## Ⅱ. 【参考】妊婦（母子健康手帳所持者）の調査結果

### Ⅱ－１. 調査の概要

#### 1. 調査の目的

平成31年10月から実施される幼児教育・保育の無償化による保護者の動向の変化を把握し、次年度の施設整備計画等の策定の基礎資料とする。

#### 2. 調査内容

- (1) 幼児教育に対する考え方について
- (2) 幼児教育・保育の無償化が実施された場合の教育・保育事業の利用意向について
- (3) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について
- (4) 家族の状況について
- (5) 保護者の就労状況について
- (6) 幼児教育・保育の無償化が実施された場合の就労状況について

#### 3. 調査設計

- (1) 調査地域  
区全域
- (2) 調査対象  
区内に居住する平成30年度中に出産予定の妊婦（母子健康手帳所持者）
- (3) 標本数  
200件
- (4) 抽出方法  
平成30年9月1日現在母子健康手帳を所持しており、平成30年度中に出産予定の妊婦を無作為抽出。
- (5) 調査方法  
郵送配布・郵送回収
- (6) 調査期間  
平成30年9月21日～平成30年10月5日

#### 4. 回収状況

133件 有効回答率 66.5%

## 5. 地区区分

調査結果の「居住地区」は、総合福祉事務所管轄で区分している。

地区	町名
練馬	旭丘、向山、小竹町、栄町、桜台、豊玉上、豊玉北、豊玉中、豊玉南、中村、中村北、中村南、貫井、練馬、羽沢
光が丘	春日町、高松、田柄、光が丘、旭町、土支田、錦、氷川台、平和台、早宮、北町
石神井	富士見台、谷原、高野台、南田中、下石神井、石神井町、三原台、上石神井、上石神井南町、石神井台、関町東、関町北、関町南、立野町
大泉	大泉学園町、大泉町、西大泉、西大泉町、東大泉、南大泉

## 6. 集計・分析にあたって

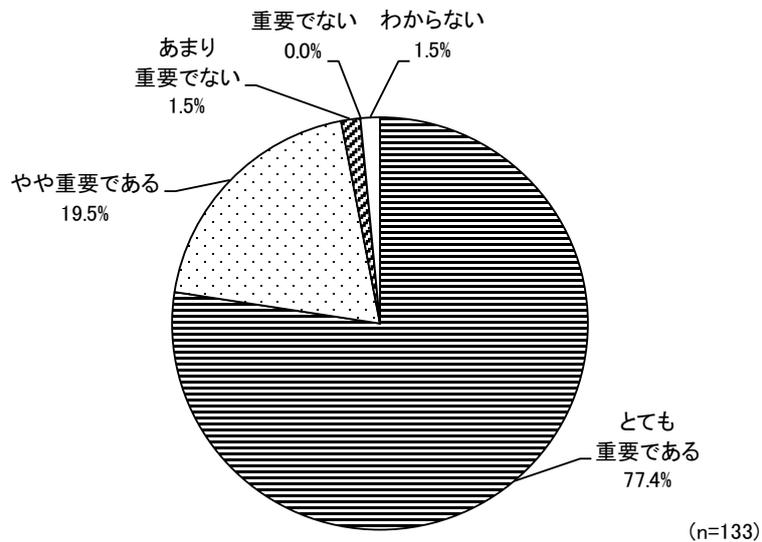
- ・回答は各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で示している。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがある。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法である。
- ・調査結果を図表にて表示しているが、グラフ以外の表は、最も多い割合のものを■で網かけをしている(無回答を除く)。
- ・クロス分析において、回答者数の少ない属性についてのコメントは控えている場合がある。

## Ⅱ－２．調査結果の詳細

### 1. 幼児教育に対する考え方について

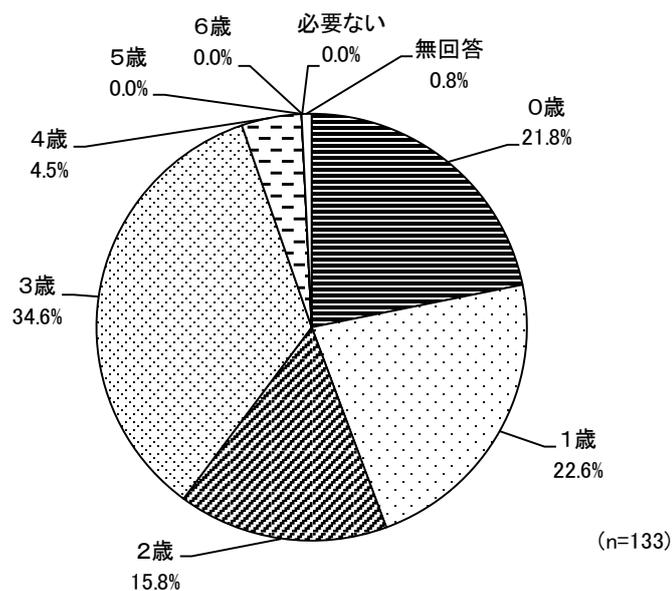
#### 問1 幼児教育について、どのようにお考えですか。(1つに○)

「とても重要である」(77.4%)が最も多く、「やや重要である」(19.5%)と合わせて『重要である』と回答した人は97.0%となっている。



#### 問2 幼児教育について、何歳から必要と考えますか。(1つに○)

「3歳」(34.6%)が最も多く、「1歳」(22.6%)、「0歳」(21.8%)、「2歳」(15.8%)、「4歳」(4.5%)と続く。



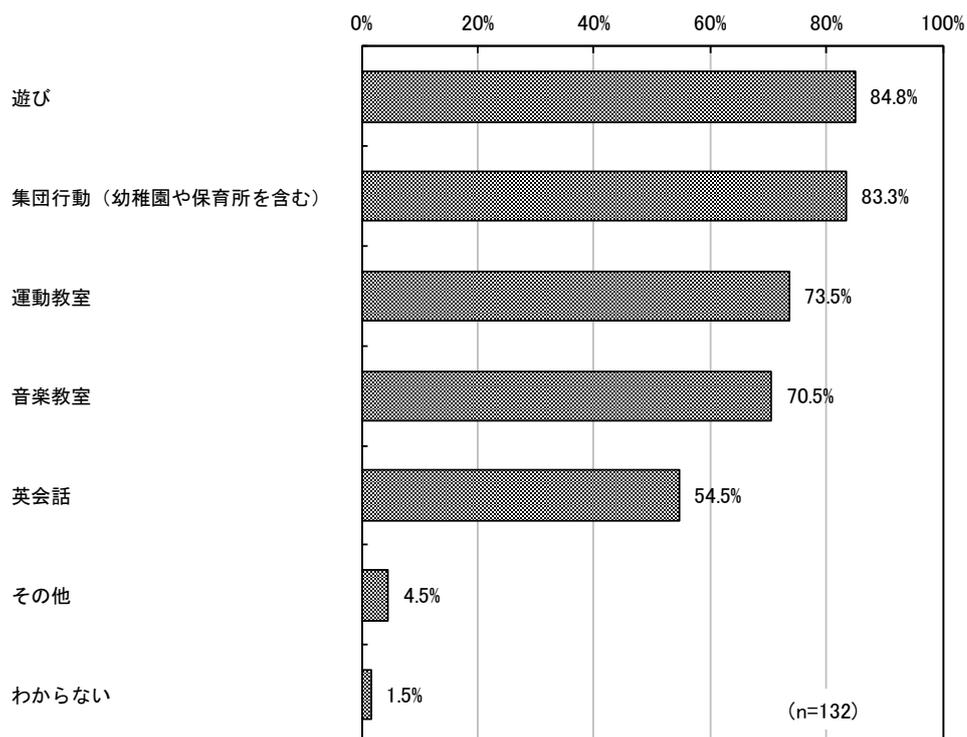
問3 問2で「1.」～「7.」に○をつけた方にうかがいます。

問2で答えた年齢から受けさせたい幼児教育について、お答えください。(あてはまるものすべてに○)

また、おおよその利用希望回数(頻度)を( )内に数字でご記入ください。

### ①受けさせたい幼児教育

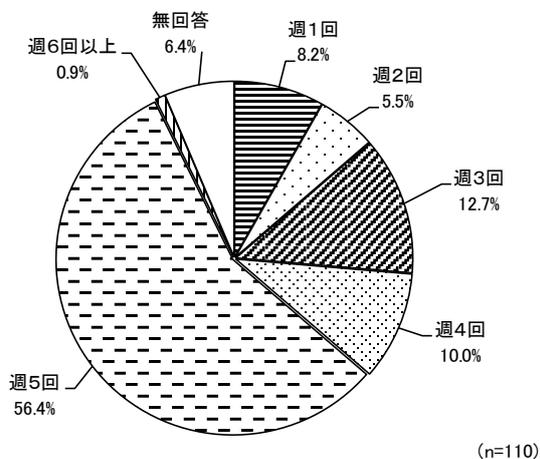
「遊び」(84.8%)が最も多く、「集団行動(幼稚園や保育所を含む)」(83.3%)、「運動教室」(73.5%)、「音楽教室」(70.5%)、「英会話」(54.5%)と続く。



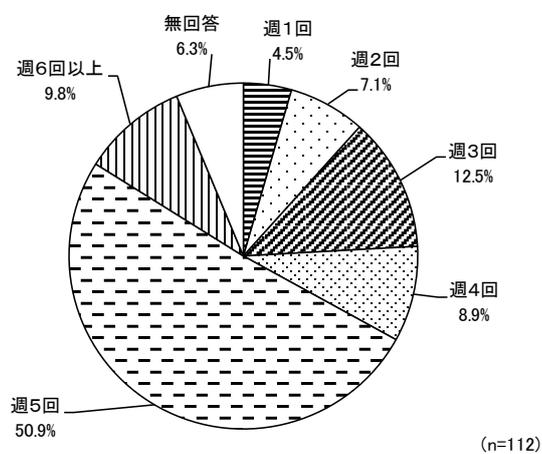
## ②利用希望回数

“集団行動(幼稚園や保育所を含む)” “遊び” では、「週5回」が最も多くなっている。“音楽教室” “運動教室” “英会話” では、「週1回」が最も多くなっている。

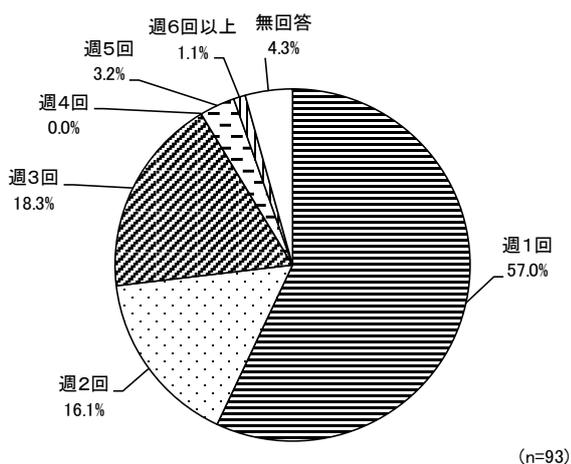
■ 集団行動(幼稚園や保育所を含む)



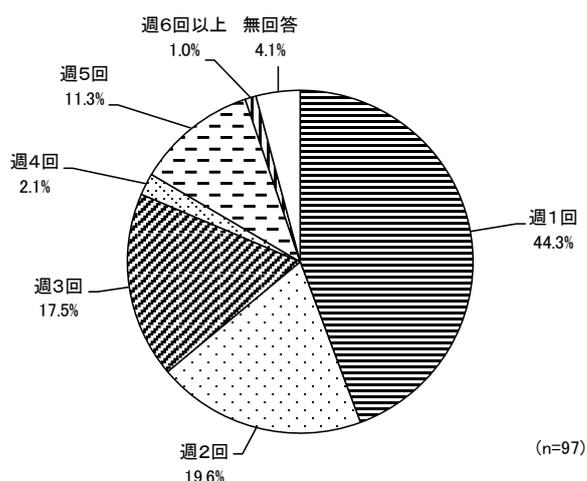
■ 遊び



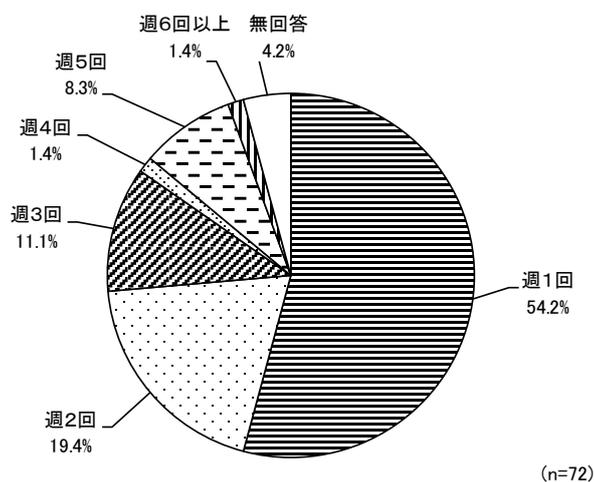
■ 音楽教室



■ 運動教室

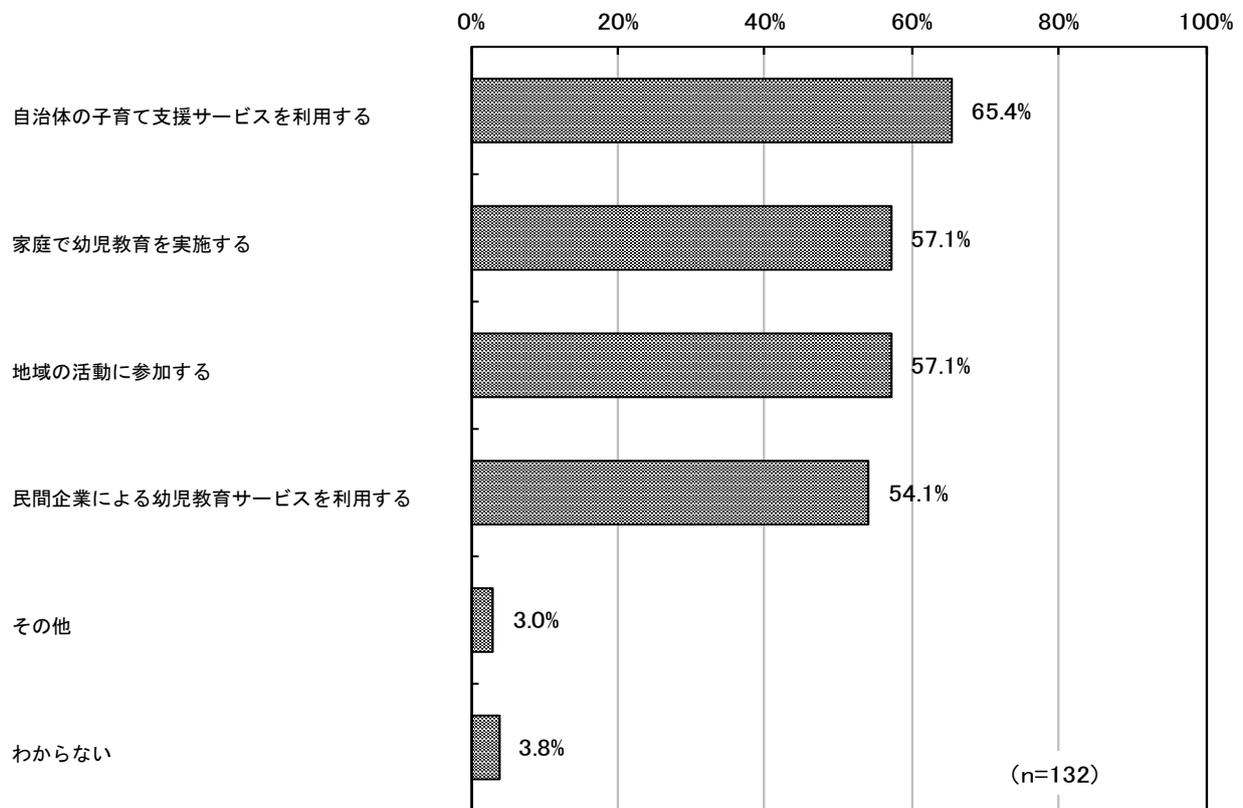


■ 英会話



問4 幼児教育はどのような方法で行われるべきだと思いますか(幼稚園や保育所以外)。(いくつでも○)

「自治体の子育て支援サービスを利用する」(65.4%)が最も多く、「家庭で幼児教育を実施する」「地域の活動に参加する」(それぞれ 57.1%)、「民間企業による幼児教育サービスを利用する」(54.1%)と続く。



## 2. 幼児教育・保育の無償化が実施された場合の教育・保育事業の利用希望について

問5 幼児教育・保育の無償化実施後、利用したい事業について、出産予定のお子さんの年齢ごとに【希望する教育・保育事業】から選び、番号を1つご記入ください(5歳までお答えください。)。なお、「公立・私立」の区分がある場合は、いずれかに○をつけてください。

また、利用を希望する頻度についてお答えください。時間は必ず24時間制でご記入ください(例：9時00分～18時00分)。

### ○希望する教育・保育事業

すべての年齢で「延長保育のある認可保育所(公立・私立)」が最も多くなっている。

単位：％

	合計	幼稚園(通常の就園時間の利用のみ)(公立・私立)	練馬こども園、預かり保育のある幼稚園	認定こども園(公立・私立)	延長保育のある認可保育所(公立・私立)	延長保育のない認可保育所(公立・私立)	小規模保育事業	家庭的保育事業(保育ママ)	事業所内保育事業	居宅訪問型保育事業
0歳	133	—	—	0.8	33.1	1.5	1.5	—	—	0.8
1歳	133	—	2.3	1.5	52.6	3.8	2.3	1.5	—	—
2歳	133	0.8	3.8	1.5	54.9	3.0	1.5	0.8	—	—
3歳	133	21.8	15.0	5.3	41.4	1.5	—	—	—	—
4歳	133	24.8	17.3	6.0	38.3	2.3	—	—	—	—
5歳	133	24.1	17.3	6.0	38.3	1.5	—	—	—	—

	認証保育所	企業主導型保育事業	ベビーシッター	ベビーホテル	一時預かり事業を活用した定期利用保育	保育園の一時預かり事業・乳幼児一時預かり事業	ファミリーサポート事業	その他	利用希望なし	無回答
0歳	0.8	0.8	2.3	—	—	9.8	1.5	0.8	26.3	20.3
1歳	1.5	—	1.5	—	0.8	6.8	0.8	0.8	8.3	15.8
2歳	0.8	—	0.8	—	—	6.8	1.5	0.8	6.0	17.3
3歳	0.8	—	—	—	0.8	—	—	0.8	0.8	12.0
4歳	0.8	—	—	—	—	—	—	—	—	10.5
5歳	0.8	0.8	—	—	—	—	—	—	—	11.3

問6 問5で「10.」～「16.」のいずれかを選択した方にうかがいます。

問5で選択した事業と組み合わせたい事業はありますか。

組み合わせたい事業について、出産予定のお子さんの年齢ごとに【希望する教育・保育事業】から選び、番号をご記入ください。なお、「公立・私立」の希望区分がある場合は、いずれかに○をつけてください(5歳までお答えください。)

また、利用を希望する頻度についてお答えください。時間は必ず24時間制でご記入ください(例：9時00分～18時00分)。

### ○幼児教育・保育の無償化実施後に利用したい事業と組み合わせたい事業

すべての年齢で「利用希望なし」が最も多くなっている。

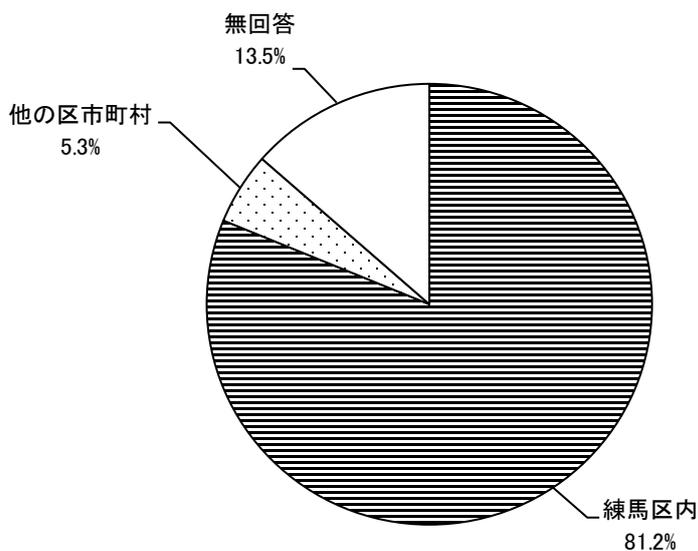
単位：%

	合計	幼稚園(通常の就園時間の利用のみ)(公立・私立)	練馬こども園、預かり保育のある幼稚園	認定こども園(公立・私立)	延長保育のある認可保育所(公立・私立)	延長保育のない認可保育所(公立・私立)	小規模保育事業	家庭的保育事業(保育ママ)	事業所内保育事業	居宅訪問型保育事業
0歳	28	—	—	—	—	—	7.1	7.1	7.1	3.6
1歳	28	—	—	—	—	—	—	—	3.6	—
2歳	28	—	—	—	—	—	3.6	—	—	—
3歳	28	—	7.1	—	—	—	—	3.6	—	—
4歳	28	—	10.7	—	—	—	—	—	—	—
5歳	28	3.6	7.1	—	—	—	—	—	—	—

	認証保育所	企業主導型保育事業	ベビーシッター	ベビーホテル	一時預かり事業を活用した定期利用保育	保育施設での一時預かり・乳幼児一時預かり	ファミリーサポート事業	その他	利用希望なし	無回答
0歳	—	—	—	—	3.6	7.1	7.1	—	28.6	28.6
1歳	3.6	—	—	—	3.6	7.1	10.7	—	21.4	50.0
2歳	—	—	—	—	—	10.7	3.6	—	25.0	57.1
3歳	—	—	—	—	—	3.6	3.6	—	21.4	60.7
4歳	—	—	—	—	—	3.6	3.6	—	21.4	60.7
5歳	—	—	—	—	—	3.6	3.6	—	21.4	60.7

**問7 教育・保育事業の利用を希望する場所についてうかがいます。(1つに○)**

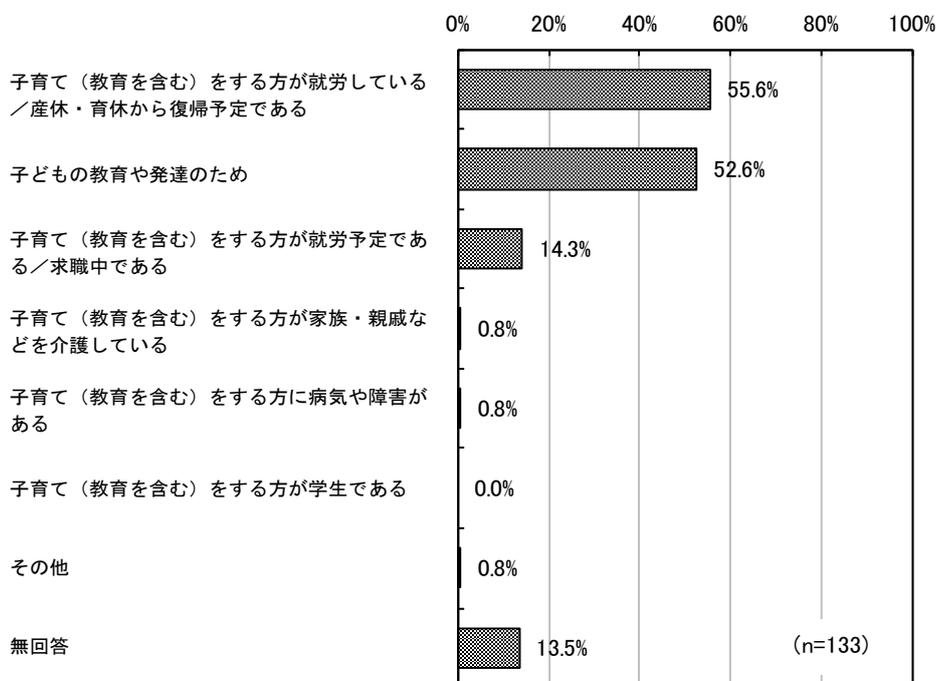
「練馬区内」(81.2%)、「他の区市町村」(5.3%)となっている。



(n=133)

**問8 平日に定期的に教育・保育の事業を利用したい理由は何ですか。(いくつでも○)**

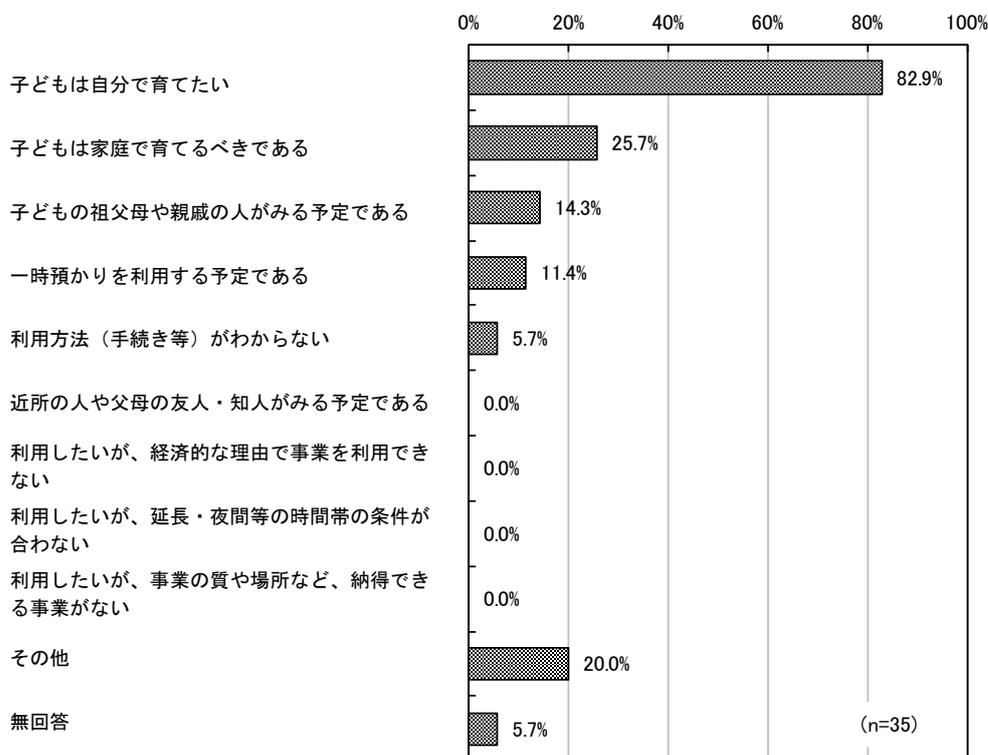
「子育て(教育を含む)をする方が就労している／産休・育休から復帰予定である」(55.6%)が最も多く、「子どもの教育や発達のため」(52.6%)、「子育て(教育を含む)をする方が就労予定である／求職中である」(14.3%)と続く。



**問 9 問 5 の 0 歳から 5 歳までのいずれかの年齢において、「18. 利用希望なし」を選択した方にうかがいます。**

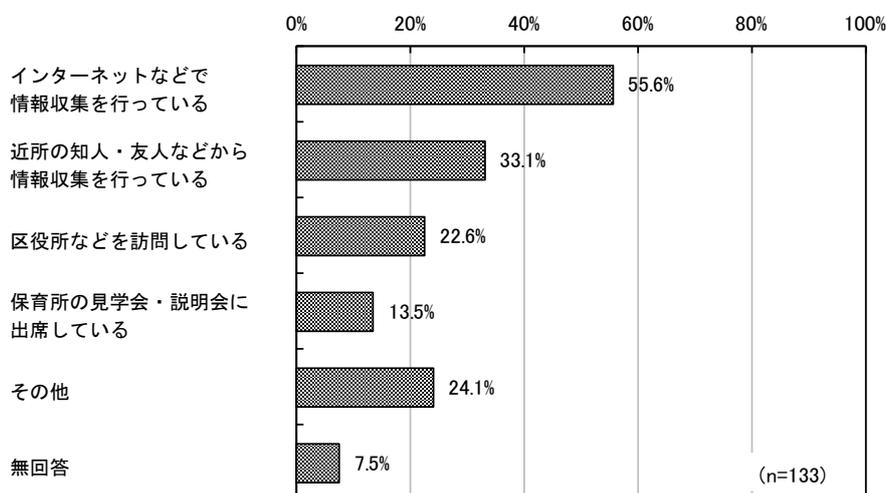
**利用を希望しない理由は何ですか。(いくつでも○)**

「子どもは自分で育てたい」(82.9%)が最も多く、「子どもは家庭で育てるべきである」(25.7%)、「子どもの祖父母や親戚の人がみる予定である」(14.3%)、「一時預かりを利用する予定である」(11.4%)、「利用方法(手続き等)がわからない」(5.7%)と続く。



**問 10 出産予定のお子さんを認可保育園等に入れるために保護者が行う活動(いわゆる「保活」)を行っていますか。(いくつでも○)**

「インターネットなどで情報収集を行っている」(55.6%)が最も多く、「近所の知人・友人などから情報収集を行っている」(33.1%)、「区役所などを訪問している」(22.6%)、「保育所の見学会・説明会に出席している」(13.5%)と続く。

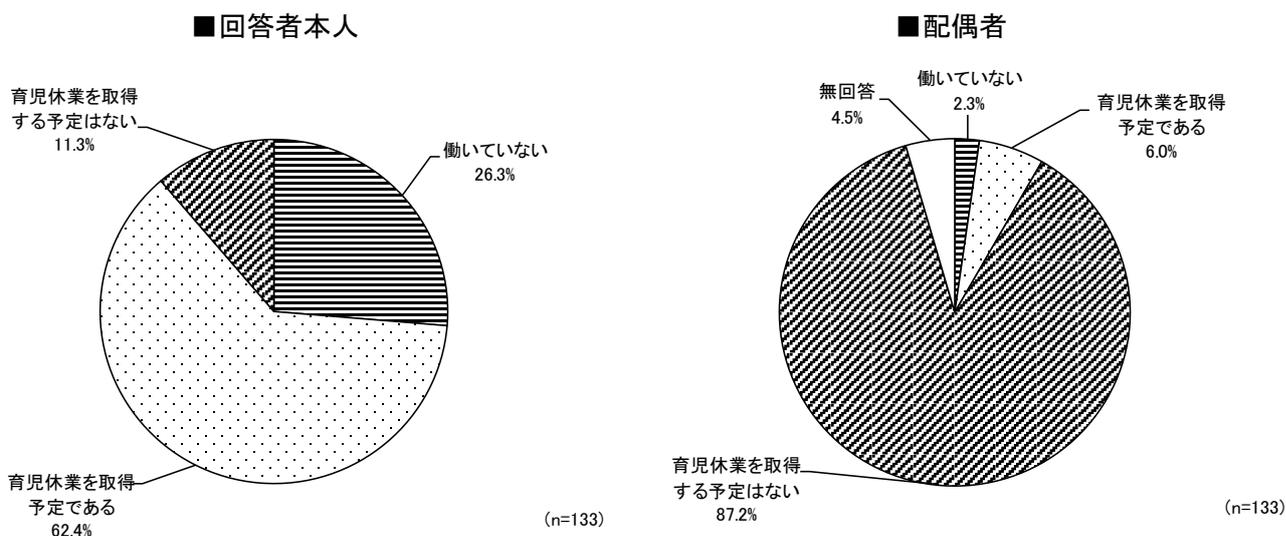


### 3. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 11 お子さんの出産に向けて、あて名のご本人と配偶者のいずれか、もしくは双方の育児休業の取得状況についてお答えください。(それぞれ1つに○)  
 また、該当する( )内に数字をご記入ください。取得していない方はその理由をご記入ください。

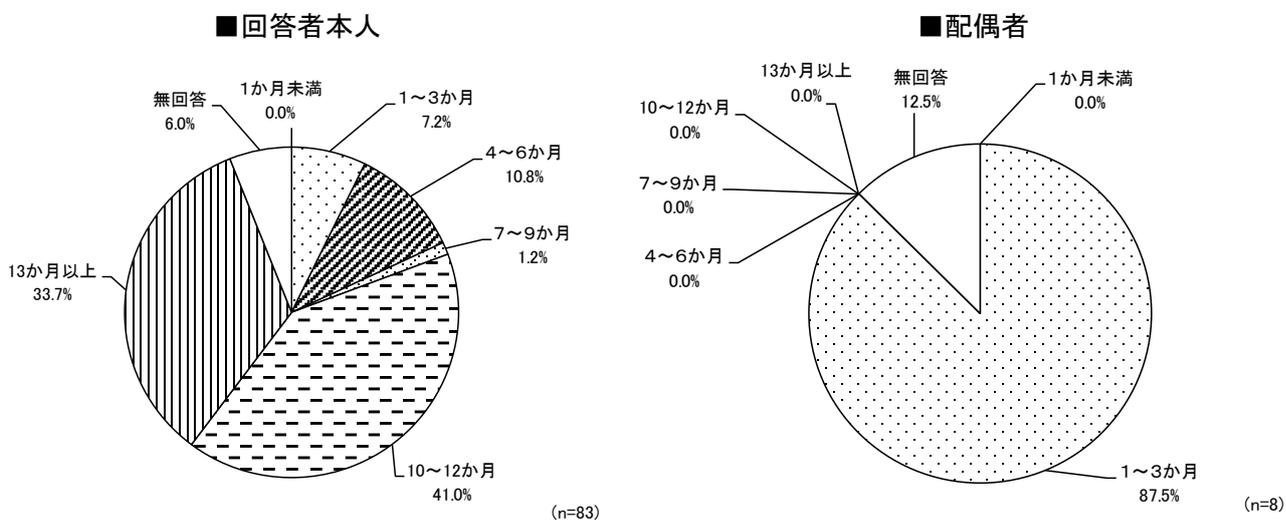
#### ①育児休業の取得の有無

回答者本人は、「育児休業を取得予定である」(62.4%)が最も多く、「働いていない」(26.3%)、「育児休業を取得する予定はない」(11.3%)と続く。配偶者は、「育児休業を取得する予定はない」(87.2%)が最も多く、「育児休業を取得予定である」(6.0%)、「働いていない」(2.3%)と続く。



#### ②育児休業の取得期間

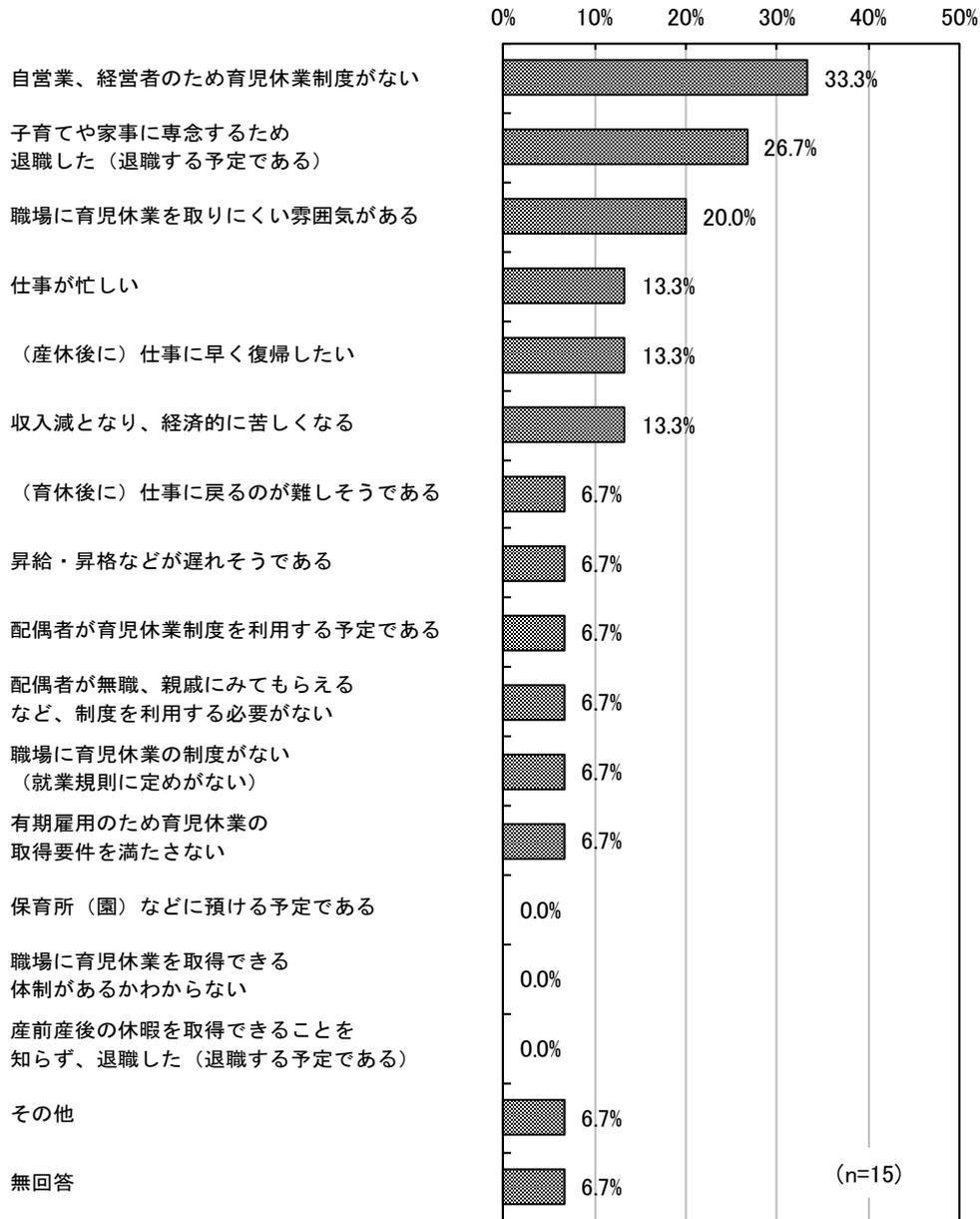
回答者本人は、「10～12か月」(41.0%)が最も多く、「13か月以上」(33.7%)、「4～6か月」(10.8%)と続く。配偶者は、「1～3か月」(87.5%)が最も多くなっている。



### ③育児休業を取得しない理由

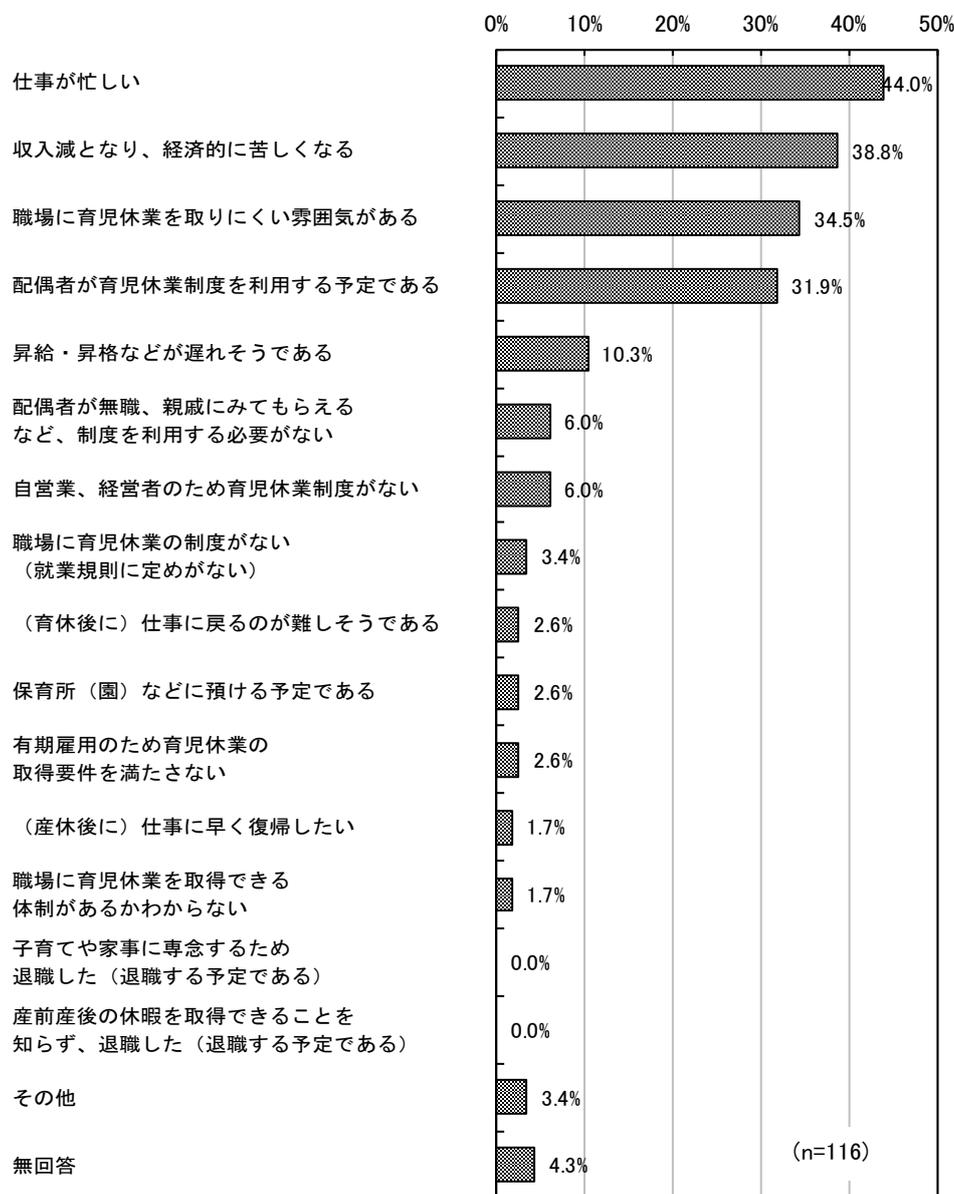
回答者本人は「自営業、経営者のため育児休業制度がない」(33.3%)、が最も多く、「子育てや家事に専念するため退職した(退職する予定である)」(26.7%)、「職場に育児休業をとりにくい雰囲気がある」(20.0%)と続く。

■回答者本人



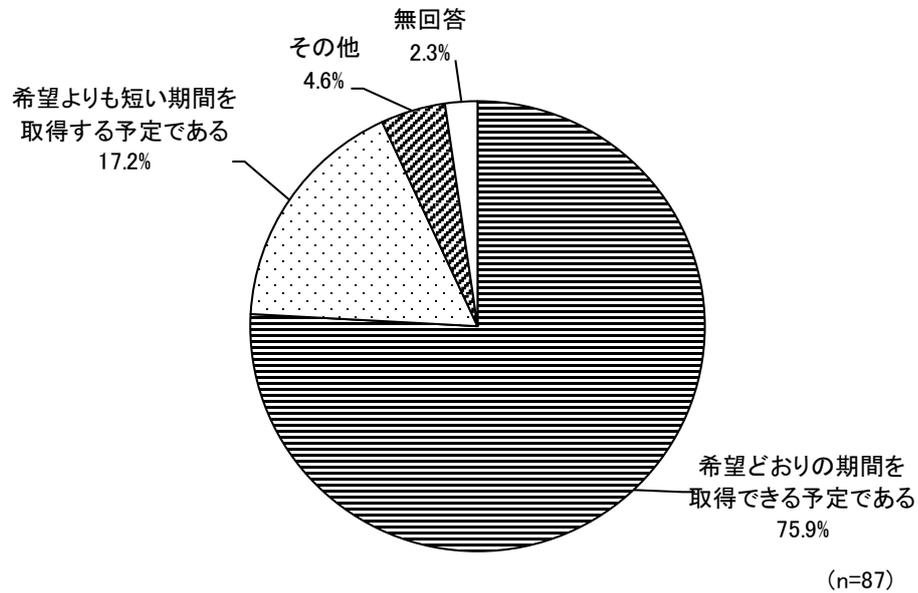
配偶者は「仕事が忙しい」(44.0%)が最も多く、「収入源となり、経済的に苦しくなる」(38.8%)、「職場に育児休業をとりにくい雰囲気がある」(34.5%)、「配偶者が育児休業制度を利用する予定である」(31.9%)と続く。

### ■配偶者



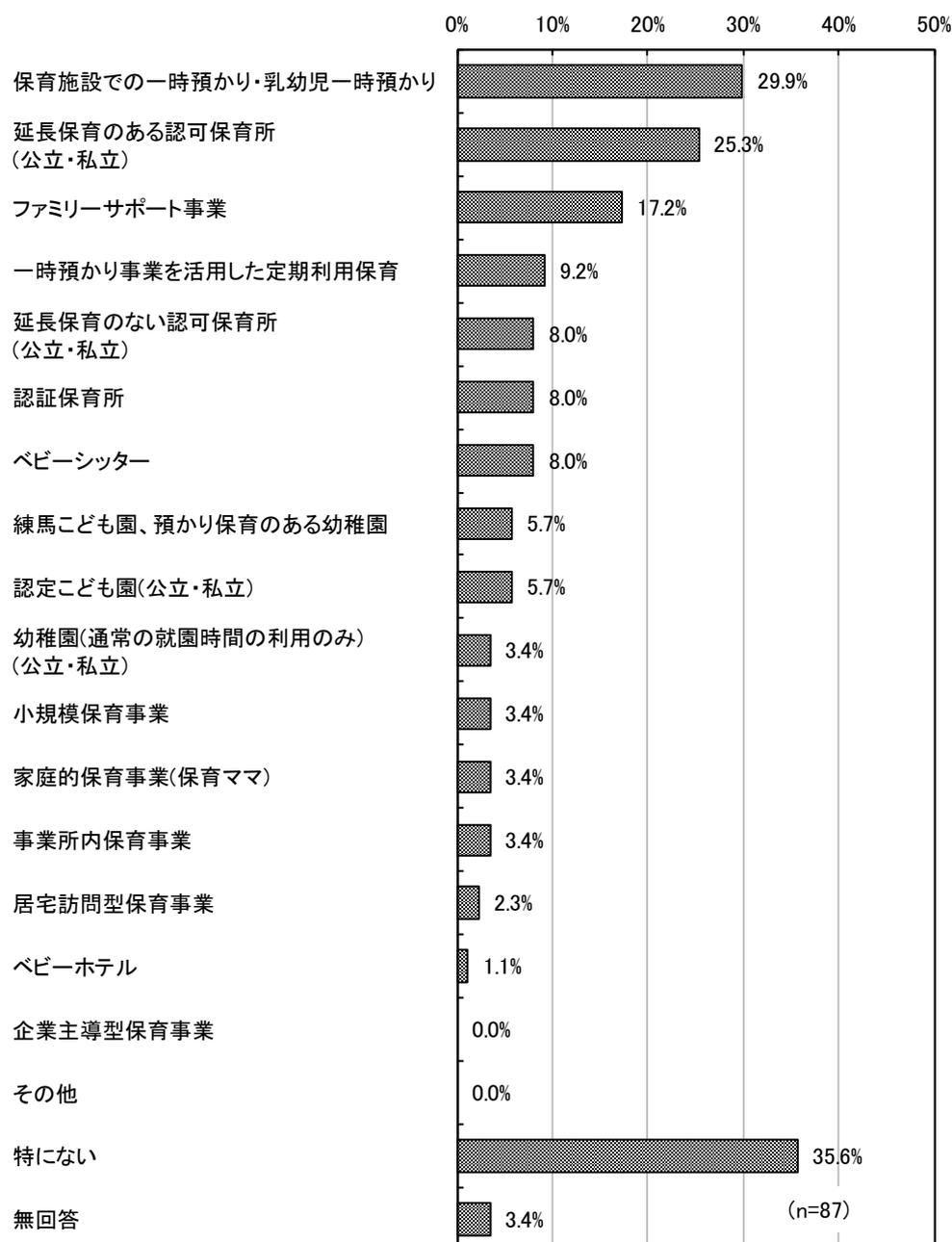
問 12 問 11 で「2. 育児休業を取得予定である」に○をつけた方にうかがいます。  
育児休業の取得期間について、希望どおりの期間を取得できますか。(1つに○)

「希望どおりの期間を取得できる予定である」(75.9%)が最も多く、「希望よりも短い期間を取得する予定である」(17.2%)と続く。



問 13 育児休業中に利用したい教育・保育事業はどれですか。(いくつでも○)なお、「公立・私立」の区分がある場合は、いずれかに○をつけてください。

「保育施設での一時預かり・乳幼児一時預かり」(29.9%)が最も多く、「延長保育のある認可保育所(公立・私立)」(25.3%)、「ファミリーサポート事業」(17.2%)、「一時預かり事業を活用した定期利用保育」(9.2%)、「延長保育のない認可保育所(公立・私立)」 「認証保育所」 「ベビーシッター」(それぞれ8.0%)と続く。

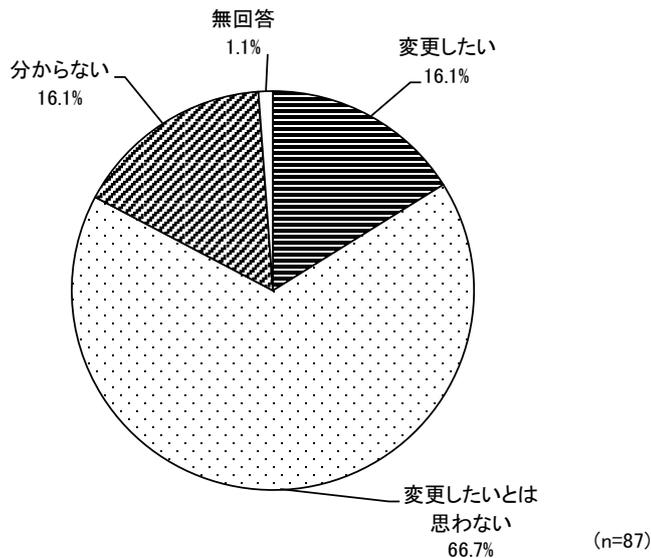


問 14 幼児教育・保育の無償化が実施された場合、育児休業の取得予定期間を変更したいと思いますか。(1つに○)

また、「1. 変更したい」を選択した方は、下記の【変更したい理由】からあてはまるものを1つ選び、( )内に番号をご記入ください。「2. 変更したいと思わない」を選択した方は、下記の【変更したいと思わない理由】からあてはまるものを1つ選び、( )内に番号をご記入ください。

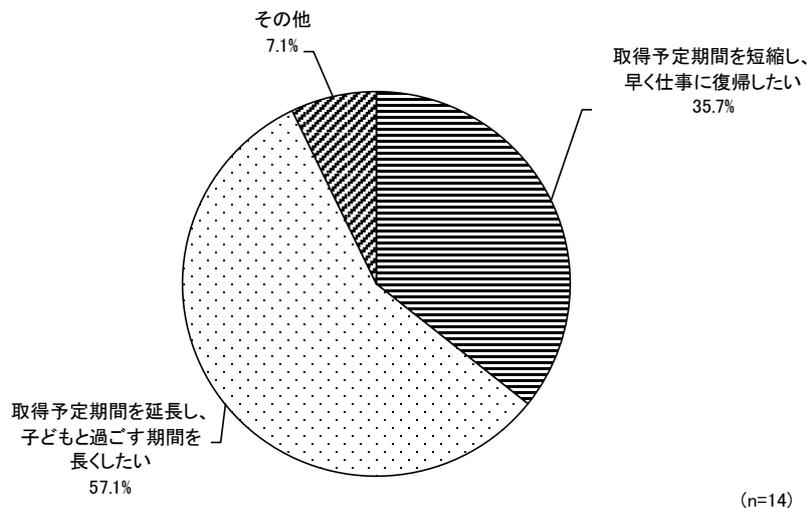
① 幼児教育・保育の無償化実施による育児休業の取得予定期間の変更の有無

「変更したいと思わない」(66.7%)が最も多く、「変更したい」「分からない」(それぞれ16.1%)と続く。



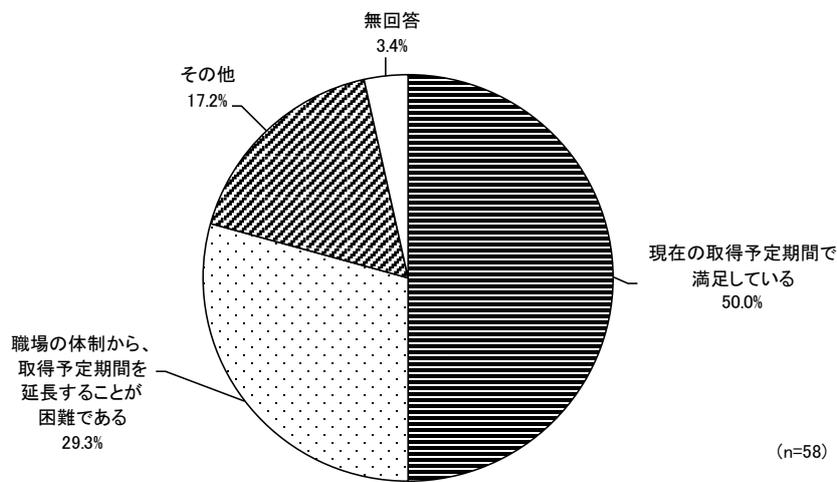
② 変更したい理由

「取得予定期間を延長し、子どもと過ごす期間を長くしたい」(57.1%)が最も多く、「取得予定期間を短縮し、早く仕事に復帰したい」(35.7%)と続く。



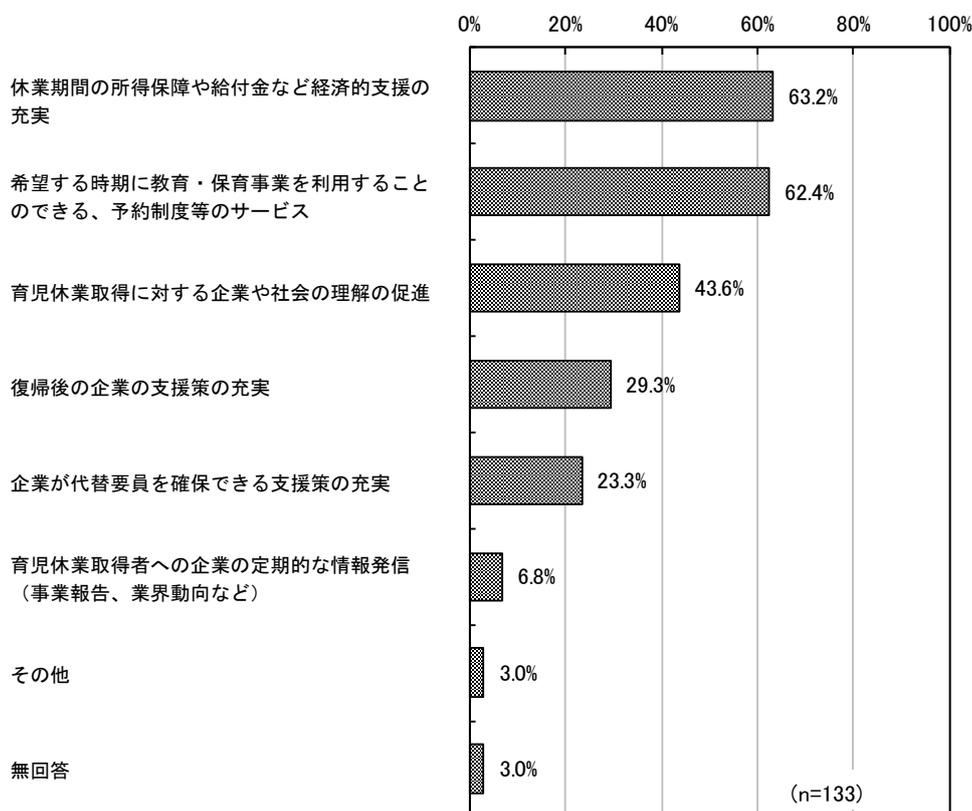
### ③変更したいと思わない理由

「現在の取得予定期間で満足している」(50.0%)が最も多く、「職場の体制から、取得予定期間を延長することが困難である」(29.3%)と続く。



**問 15 育児休業を満了するために、どのようなサービスや取り組みが必要だと思いますか。(3つまで○)**

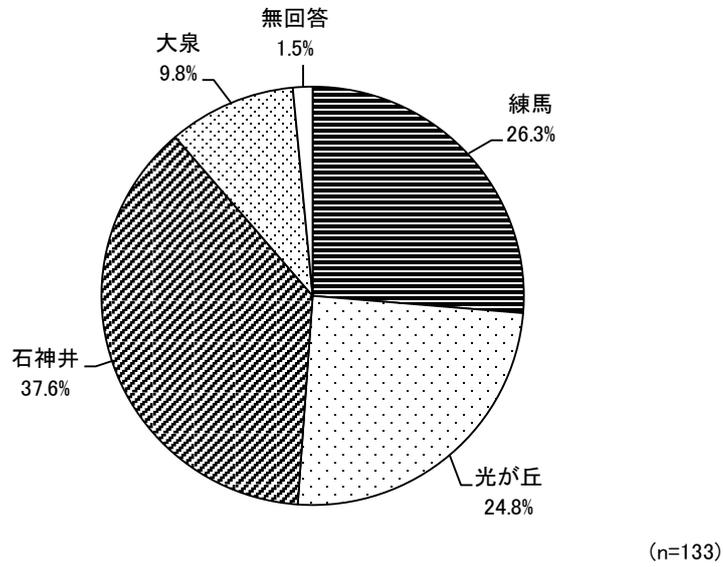
「休業期間の所得保障や給付金など経済的支援の充実」(63.2%)が最も多く、「希望する時期に教育・保育事業を利用することのできる、予約制度等のサービス」(62.4%)、「育児休業取得に対する企業や社会の理解の促進」(43.6%)、「復帰後の企業の支援策の充実」(29.3%)、「企業が代替要員を確保できる支援策の充実」(23.3%)と続く。



#### 4. 家族の状況について

**問 16 お住まいの町名をお答えください。(1つに○)**

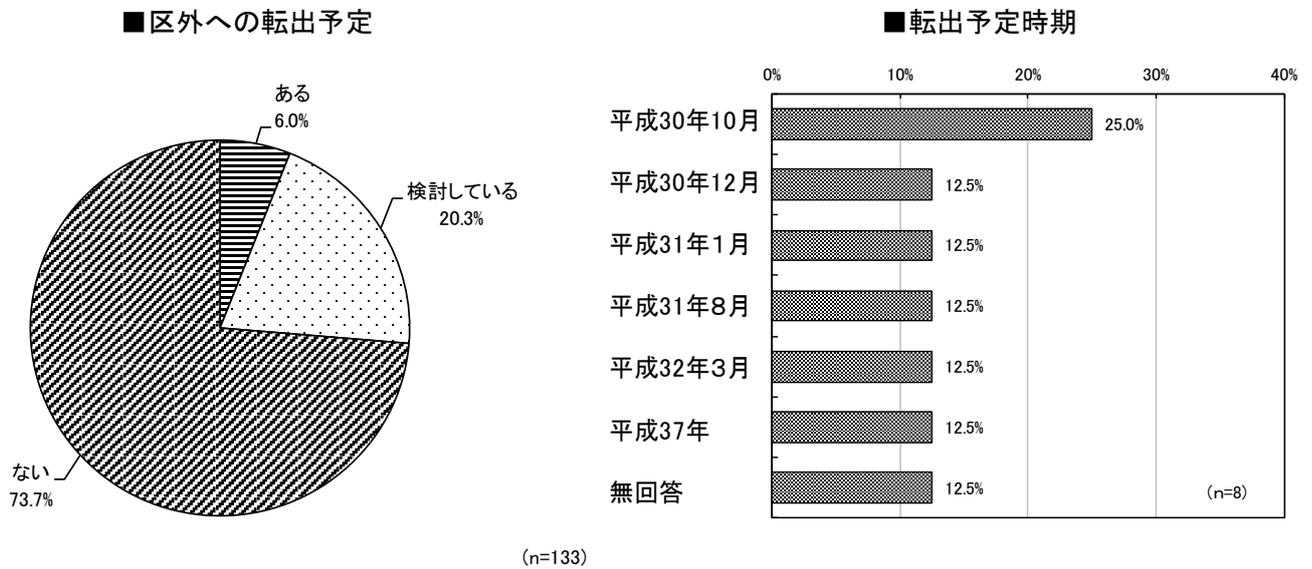
「石神井」(37.6%)が最も多く、「練馬」(26.3%)、「光が丘」(24.8%)、「大泉」(9.8%)と続く。



**問 17 今後、区外への転出の予定はありますか。(1つに○)**

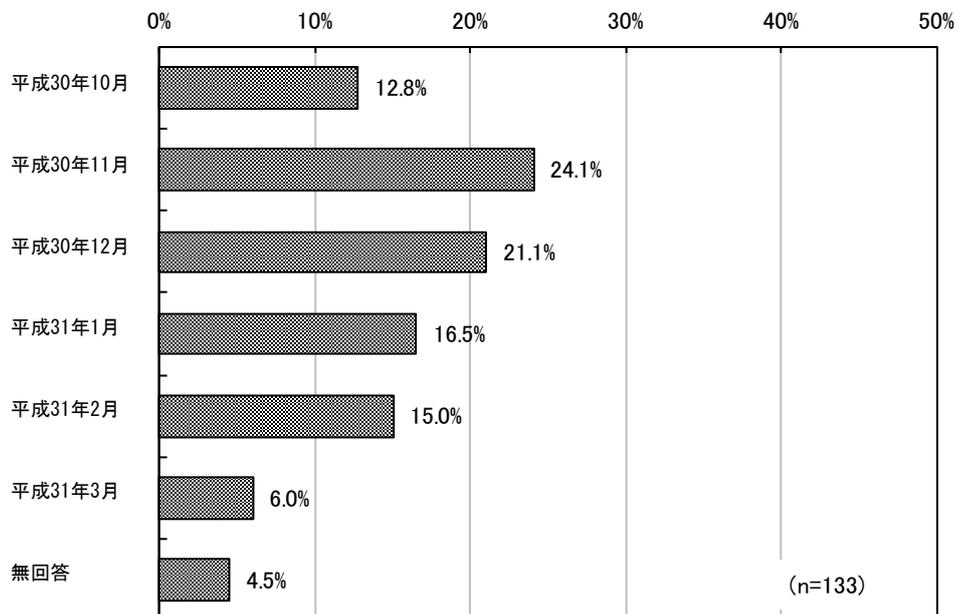
「ない」(73.7%)が最も多く、「検討している」(20.3%)、「ある」(6.0%)と続く。

転出予定時期は、「平成30年10月」(25.0%)が最も多くなっている。



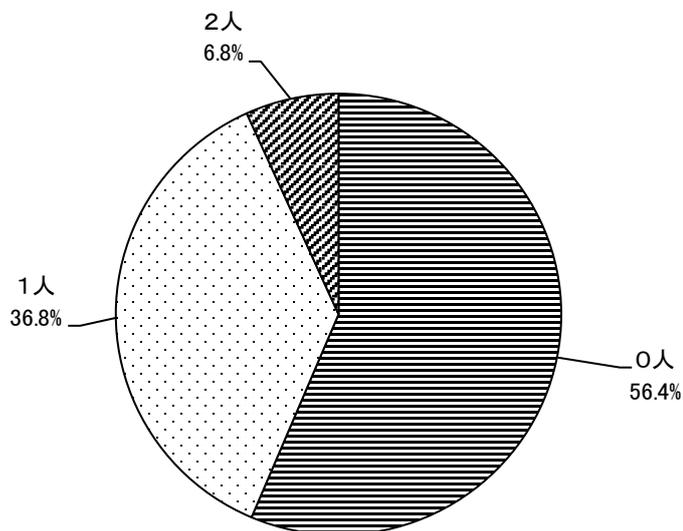
**問 18 お子さんの出産予定生年月をご記入ください。( )内に数字でご記入ください**

「平成 30 年 11 月」(24.1%)が最も多く、「平成 30 年 12 月」(21.1%)、「平成 31 年 1 月」(16.5%)と続く。



**問 19 出産予定のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。出産予定のお子さんを除いた人数を( )内に数字でご記入ください。**

「0人」(56.4%)が最も多く、「1人」(36.8%)、「2人」(6.8%)と続く。

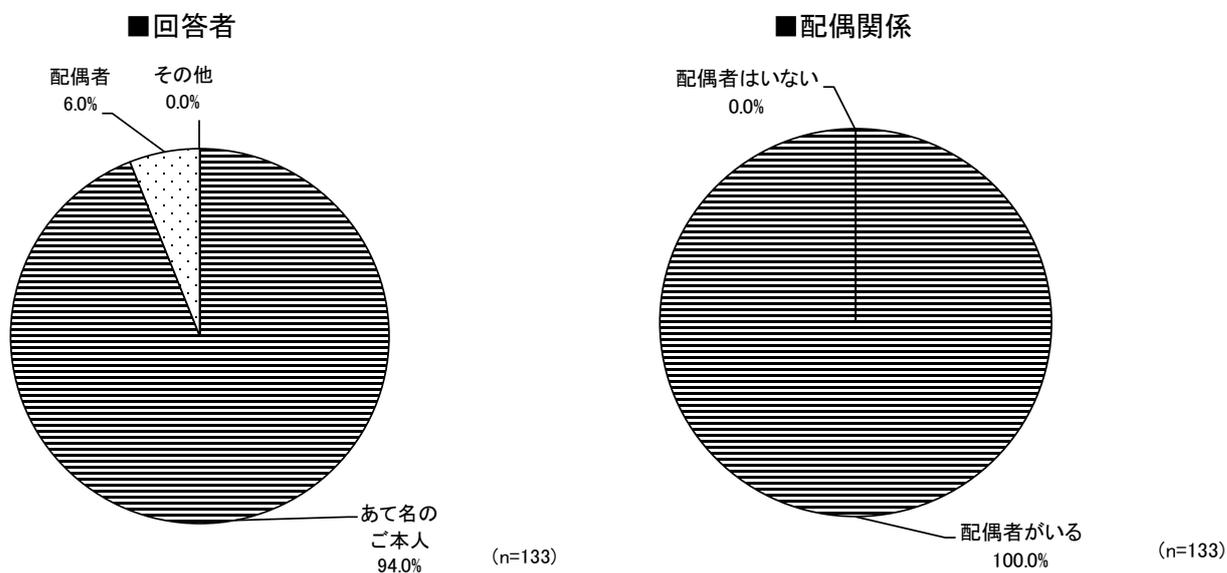


(n=133)

問 20 この調査票のご回答者はどなたですか。(1つに○)

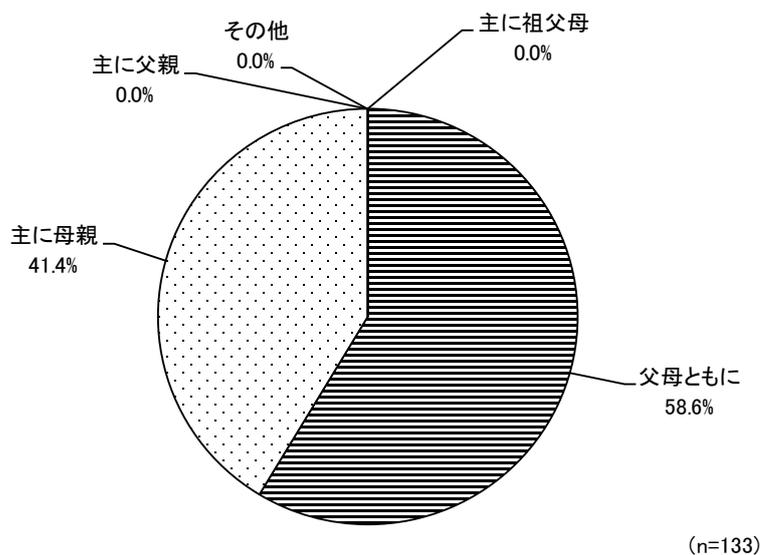
問 21 この調査票のご回答者の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

回答者は、「あて名のご本人」(94.0%)、「配偶者」(6.0%)となっている。配偶関係は、「配偶者がいる」(100.0%)となっている。



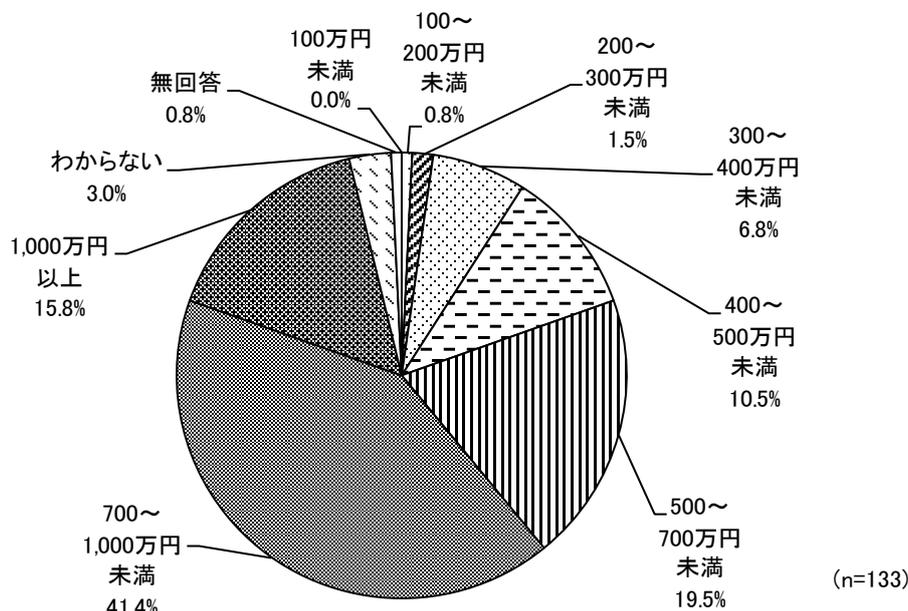
問 22 出産予定のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行う予定である方はどなたですか。出産予定のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

「父母ともに」(58.6%)が最も多く、「主に母親」(41.4%)と続く。



問 23 世帯全体の昨年度の年収(税込み)は、仕事による収入と仕事外の収入を合わせて、おおよそのくらいですか。(1つに○)

「700～1,000万円未満」(41.4%)が最も多く、「500～700万円未満」(19.5%)、「1,000万円以上」(15.8%)と続く。

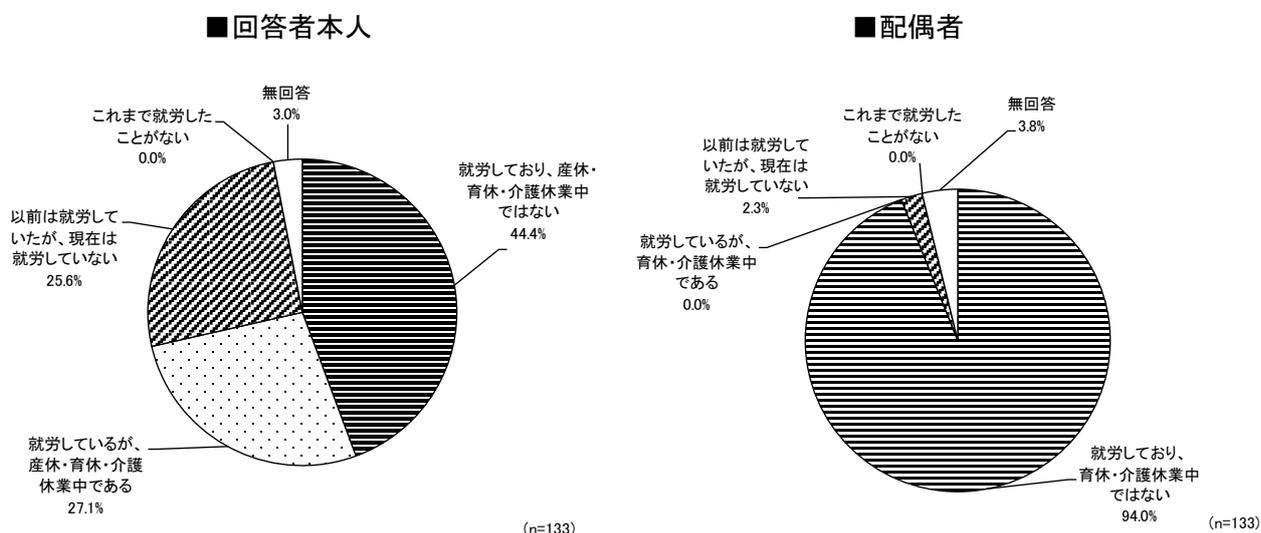


## 5. 保護者の就労状況について

問 24 あて名のご本人と配偶者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

回答者本人は、「就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(44.4%)が最も多く、「就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(27.1%)、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(25.6%)と続く。

配偶者は、「就労しており、育休・介護休業中ではない」(94.0%)が最も多く、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(2.3%)と続く。



問 25 問 24 の(1)ご本人または(2)配偶者で「1.」「2.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

就労日数、就労時間(残業時間を含む)、就労形態についてお答えください。

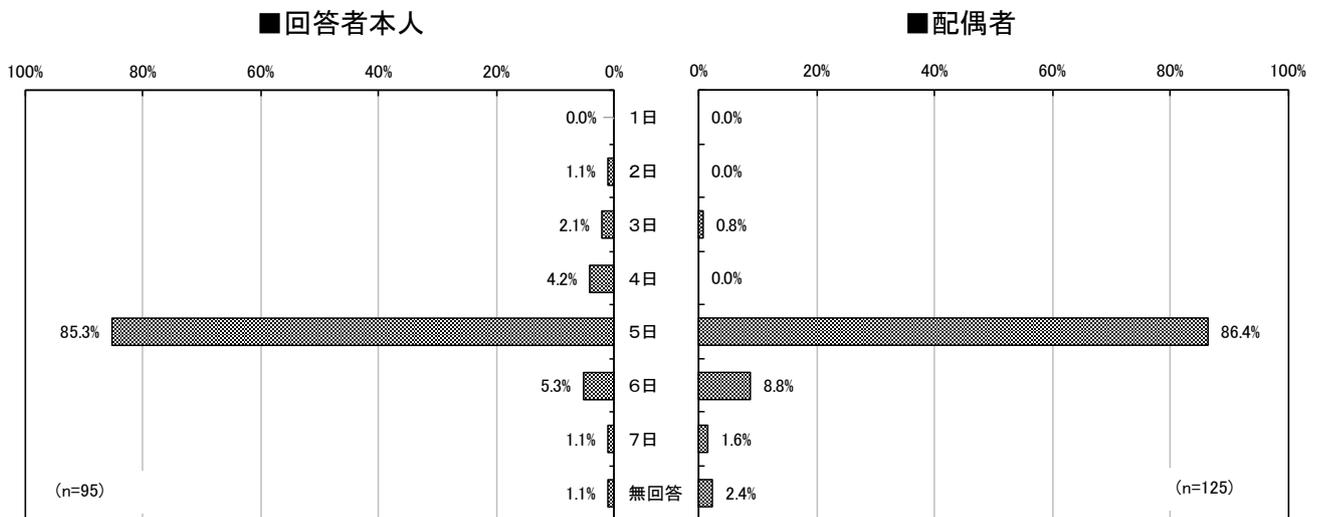
就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

(日数と時間は( )内に数字でご記入ください。就労形態は該当するものに○をつけてください。就労形態が「その他」の場合は、( )内に具体的な就労形態をご記入ください。)

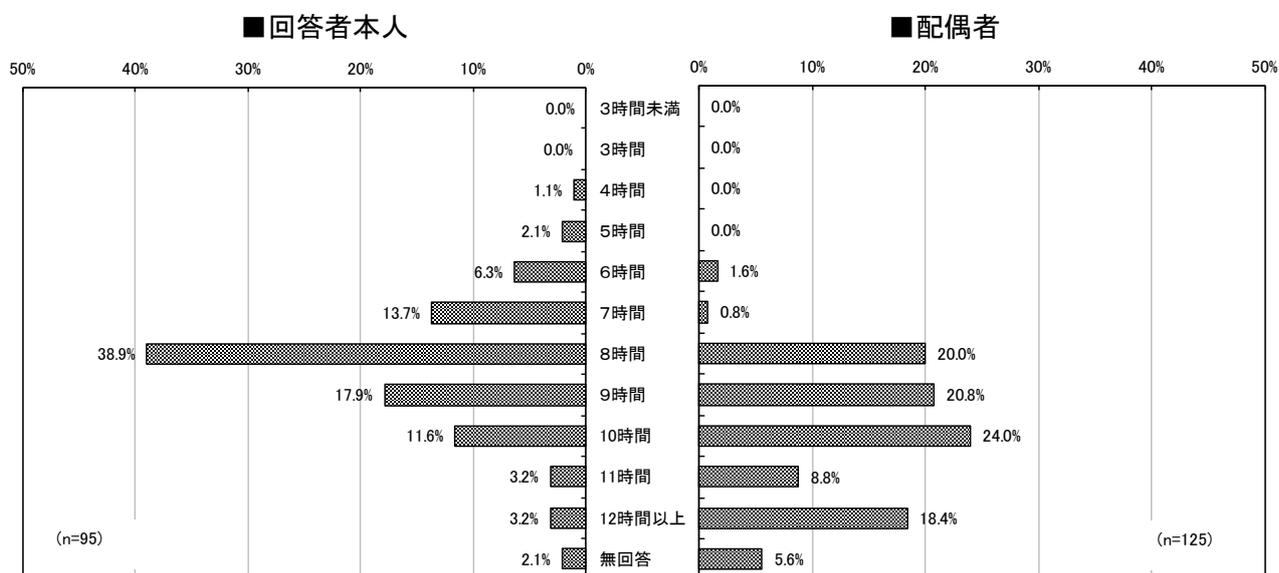
① 1 週当たり就労日数

回答者本人は、「5日」(85.3%)が最も多く、平均は 5.0 日となっている。配偶者は、「5日」(86.4%)が最も多く、平均は 5.1 日となっている。



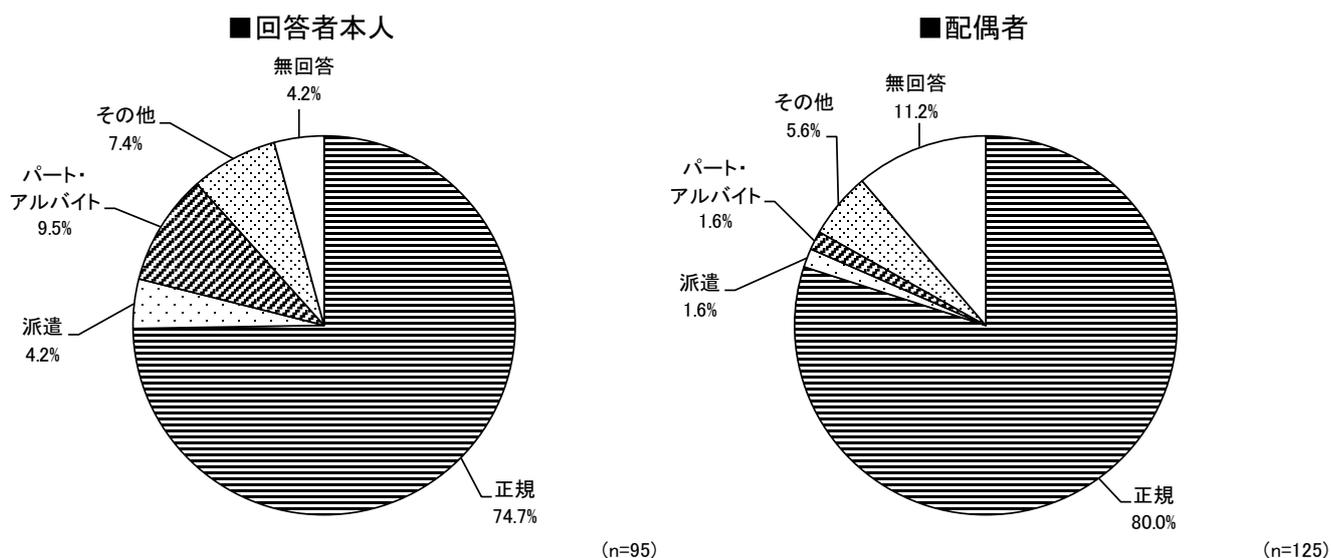
## ② 1日当たり就労時間(残業時間を含む)

回答者本人は、「8時間」(38.9%)が最も多く、「9時間」(17.9%)、「7時間」(13.7%)、「10時間」(11.6%)、「6時間」(6.3%)と続く。平均は8.3時間となっている。配偶者は、「10時間」(24.0%)が最も多く、「9時間」(20.8%)、「8時間」(20.0%)、「12時間以上」(18.4%)、「11時間」(8.8%)と続く。平均は9.9時間となっている。



## ③ 就労形態

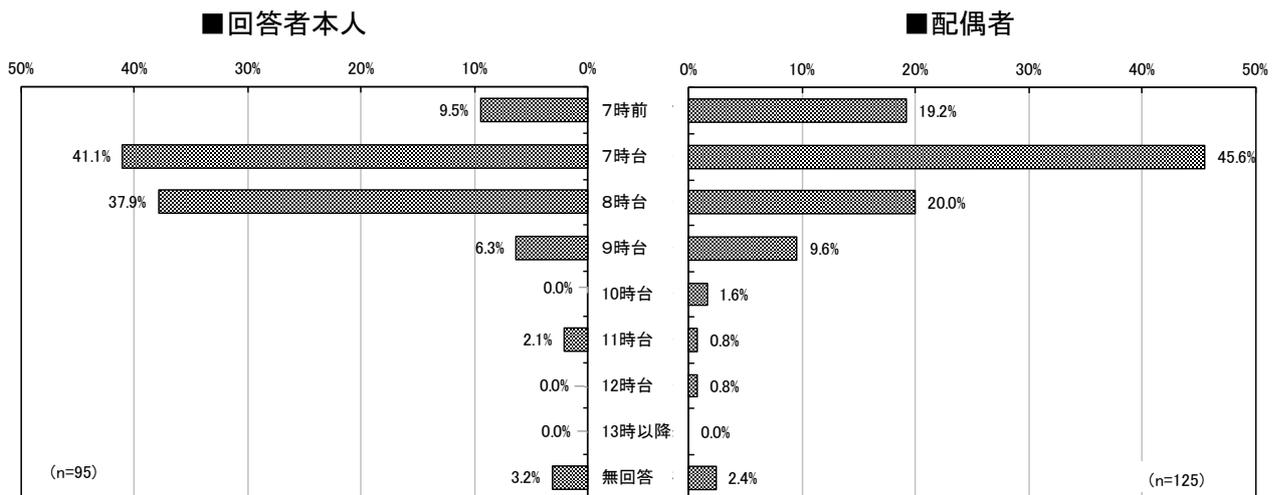
回答者本人は、「正規」(74.7%)が最も多く、「パート・アルバイト」(9.5%)、「派遣」(4.2%)と続く。配偶者は、「正規」(80.0%)が最も多く、「派遣」「パート・アルバイト」(それぞれ1.6%)と続く。



問 26 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は( )内に必ず 24 時間制でお答えください(例：8 時 00 分～18 時 30 分)。

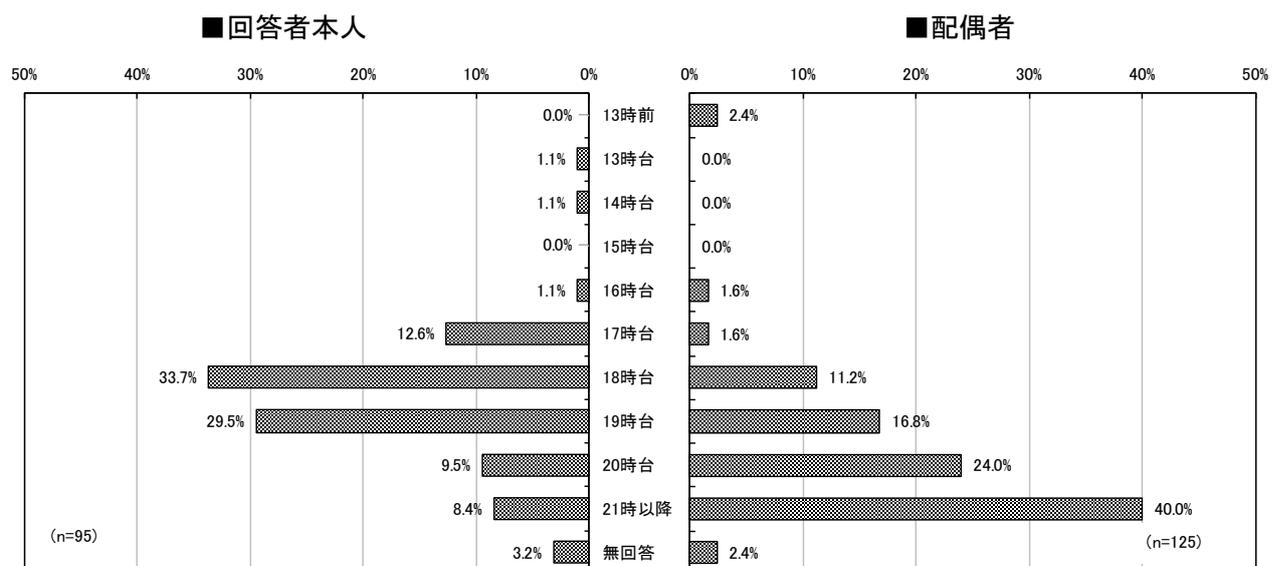
①家を出る時刻

回答者本人は、「7 時台」(41.1%)が最も多く、「8 時台」(37.9%)、「7 時前」(9.5%)と続く。平均は 7 時 52 分となっている。配偶者は、「7 時台」(45.6%)が最も多く、「8 時台」(20.0%)、「7 時前」(19.2%)と続く。平均は 7 時 35 分となっている。



②帰宅時刻

回答者本人は、「18 時台」(33.7%)が最も多く、「19 時台」(29.5%)、「17 時台」(12.6%)と続く。平均は 18 時 50 分となっている。配偶者は、「21 時以降」(40.0%)が最も多く、「20 時台」(24.0%)、「19 時台」(16.8%)と続く。平均は 20 時 14 分となっている。



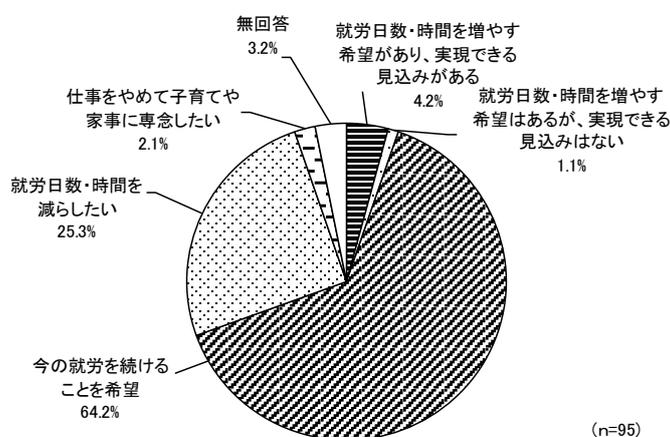
## 6. 幼児教育・保育の無償化が実施された場合の就労状況について

問 27 問 24 の(1)ご本人または(2)配偶者で「1.」「2.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

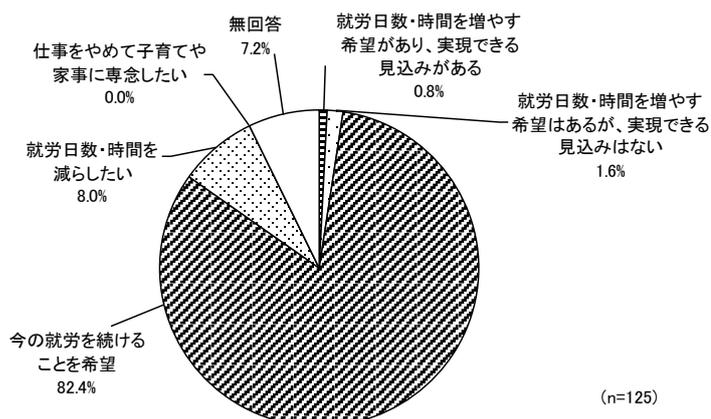
無償化実施後、就労状況を変更する希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけ、( )内に数字をご記入ください。

回答者本人は、「今の就労を続けることを希望」(64.2%)が最も多く、「就労日数・時間を減らしたい」(25.3%)、「就労日数・時間を増やす希望があり、実現できる見込みがある」(4.2%)と続く。配偶者は、「今の就労を続けることを希望」(82.4%)が最も多く、「就労日数・時間を減らしたい」(8.0%)、「就労日数・時間を増やす希望はあるが、実現できる見込みはない」(1.6%)と続く。

■回答者本人



■配偶者



<就労日数・時間を増やす希望があり、実現できる見込みがある>

【増加後の日数等 1週当たり日数】

回答者本人は、「1日」「5日」がそれぞれ2件となっている。配偶者は、「1日」が1件となっている。

【増加後の日数等 1日当たり時間】

回答者本人は、「3時間未満」が2件、「4時間」「8時間」がそれぞれ1件となっている。配偶者は、「8時間」が1件となっている。

<就労日数・時間を増やす希望があるが、実現できる見込みはない>

【増加後の日数等 1週当たり日数】

回答者本人は、「5日」が1件となっている。配偶者は、「5日」が1件となっている（無回答1件）。

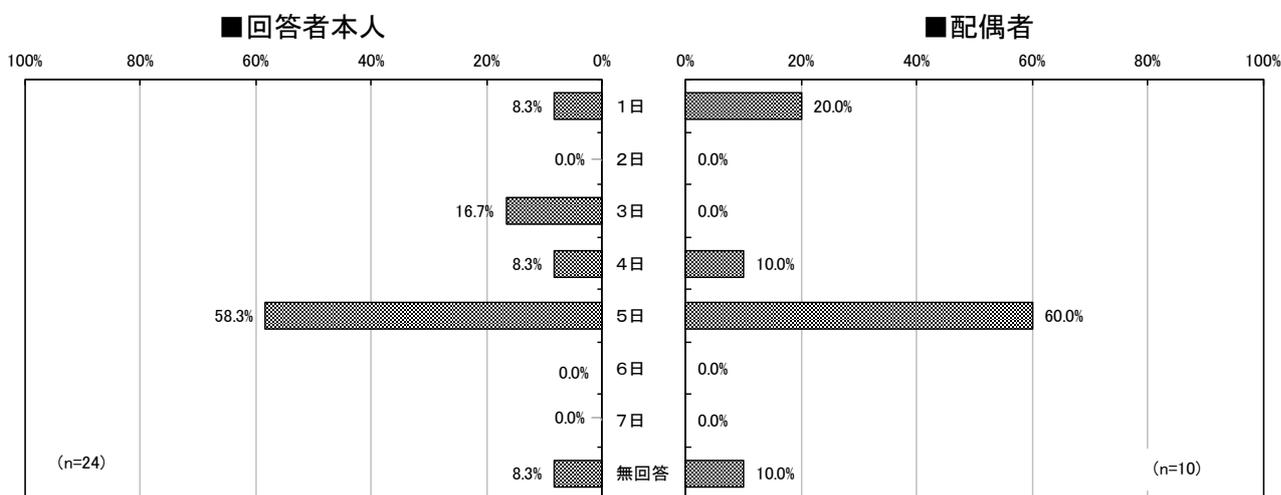
【増加後の日数等 1日当たり時間】

回答者本人は、「8時間」が1件となっている。配偶者は、「8時間」が1件となっている（無回答1件）。

<就労日数・時間を減らしたい>

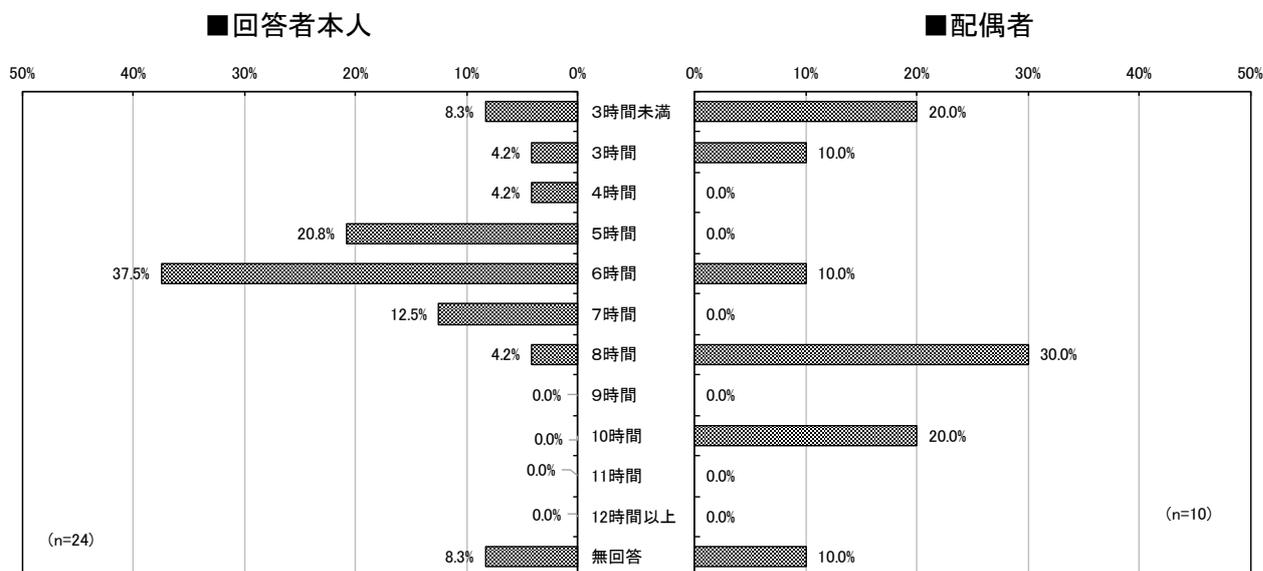
【減少後の日数等 1週当たり日数】

回答者本人は、「5日」(58.3%)が最も多く、平均は4.2日となっている。配偶者は、「5日」(60.0%)が最も多く、平均は4.0日となっている。



**【減少後の日数等 1日当たり時間】**

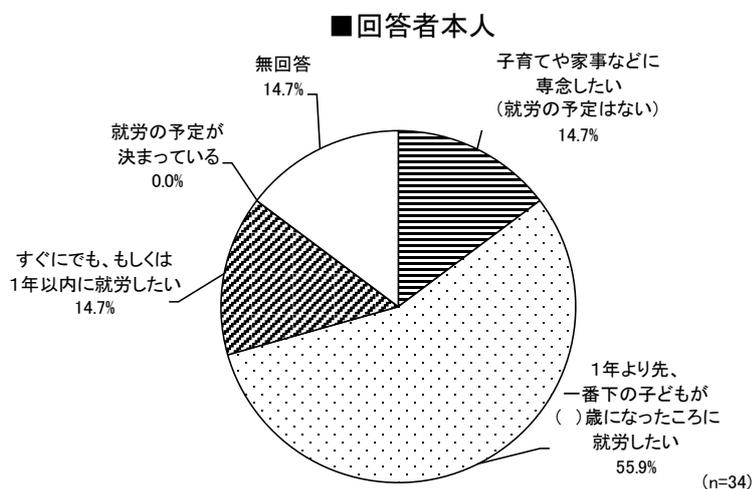
回答者本人は、「6時間」(37.5%)が最も多く、平均は5.4時間となっている。配偶者は、「8時間」(30.0%)が最も多く、平均は6.1時間となっている。



**問 28 問 24 の(1)ご本人または(2)配偶者で「3. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「4. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。**

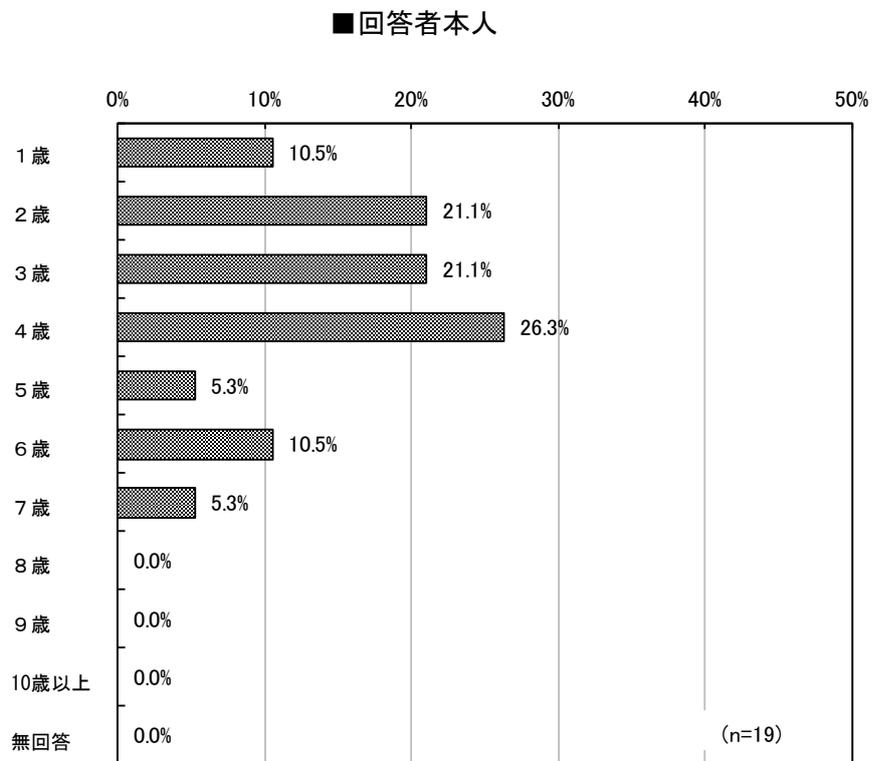
無償化実施後、就労したいという希望はありますか。あてはまる番号1つに○をつけ、日数、時間等について( )内に数字をご記入ください。就労形態については該当するものに○をつけてください。就労形態が「その他」の場合は、( )内に具体的な就労形態をご記入ください。

回答者本人は、「1年より先、一番下の子どもが( )歳になったところに就労したい」(55.9%)が最も多く、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」(それぞれ14.7%)と続く。配偶者は、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」「1年より先、一番下の子どもが( )歳になったところに就労したい」がそれぞれ1件となっている(無回答1件)。



### <1年より先、一番下の子どもが( )歳になったところに就労したい>

回答者本人は、「4歳」(26.3%)、「2歳」「3歳」(それぞれ21.1%)、「1歳」「6歳」(それぞれ10.5%)となっている。配偶者は、「3歳」が1件となっている。



### <すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい>

#### 【希望時期】

回答者本人は、「3か月後」「5か月後」「6か月後」「10か月後」「12か月後」がそれぞれ1件となっている。配偶者は、有効回答なし。

#### 【希望する就労形態】

回答者本人は、有効回答なし。配偶者は、「正規」が5件となっている。

#### 【希望の1週当たり日数】

回答者本人は、「5日」が2件、「2日」「4日」がそれぞれ1件となっている（無回答1件）。配偶者は、「5日」が5件となっている。

#### 【希望の1日当たり時間】

回答者本人は、「4時間」「8時間」がそれぞれ2件となっている（無回答1件）。配偶者は、「8時間」が5件となっている。

### <就労の予定が決まっている>

回答者本人、配偶者ともに有効回答なし。

## 7. 自由回答

### 【幼児教育・保育の無償化】（6件）

- ・ 保育士が労働に見合う給与を受け取れて、余裕を持って働けるように環境を整えていただいた上で、初めて自分の子どもを預けるかどうかを見極めたい。
- ・ 世帯収入にかかわらず保育料を無償化してほしい。
- ・ 無償化になることで、子どもを預けたいと思う人が増え、さらに待機児童が増えてしまうのではないかと不安に思う。

### 【保育所・幼稚園等】（22件）

- ・ 4月以外でも認可保育所に入れる保証があれば、もう少し安心した産前産後休業・育児休業期間を過ごせると考える。
- ・ 認可保育所への入園（特に1歳児）が厳しいため、拡充してほしい。
- ・ 延長保育の時間が長い保育所を増やしてほしい。
- ・ 育児休業から職場復帰するタイミングが保育所に入園できるかどうか大きく左右されるため、希望の時期に入園できるよう制度が整うことを期待したい。
- ・ 就労状況にかかわらず、認可保育所に入れるようにしてほしい。
- ・ 満2歳から利用できる幼稚園や練馬こども園（14時以降の預かり保育あり）を増やしてほしい。
- ・ 公立幼稚園の3年保育を希望する。安心感や、公立の良さをもう少し周知してほしい。また、一時預かりの施設を増やしてほしい。

### 【子育てをする上での支援】（1件）

- ・ 急に誰かのサポートが必要になった時に使えるサービスがあると、より安心して子育てができると思う。
- ・ 子どもが小さいうちは一緒に居たいし、それが大切なことと思い、仕事より子育てを優先している身としては、働いていないことが良くないこととされているような気になる。仕事をしていない母親へのフォローもお願いしたい。
- ・ 多くの方がサポートを受け、安心に繋げるため、「場」「人材」「教育」を確保してほしい。

### 【情報提供】（5件）

- ・ 待機児童の解消と、入園状況や保育施設の最近の動向に関する情報を得やすい環境整備を希望する。無償化されても利用できない状態では効果がないと思う。
- ・ 妊娠をきっかけに初めて区内の子育てサービスを知り、情報を得たことで不安が軽減された。支援の有無を知ることで、より前向きに子どもを産むことを考えられるようになる方も大勢いるのではないと思う。
- ・ 子育て支援に関する情報交換ができるイベント等のお知らせがほしい。
- ・ 企業主導型保育事業の紹介は行政が積極的にやるべきである。その存在を知らない親も多い。

## 【その他】(62件)

- ・ 練馬区は住みやすいと思うが、待機児童の問題は、初めて子どもを産み、社会復帰を考えている身としては不安である。待機児童ゼロになることを願っている。
- ・ 区の療育施設の充実を希望する。どんなに重い障害があっても受け入れて、母親の負担を軽減してほしい。
- ・ 男性には有給休暇等の休暇制度を取得しにくい風潮がある。母子健康手帳交付時の面談や、パパとママの準備教室は、不安の解消になりとても良かった。
- ・ 子どもと過ごす時間もしっかり確保しつつ、家計と自分のキャリアのためにも、仕事は続けていきたい。もっと気軽に入園や長時間の保育ができるようになってほしい。今ある制度や施設を駆使すれば実現可能かもしれないが、その場合は相談窓口があると嬉しい。